

見分け方

ナガエツルノゲイトウの特徴

同定ポイント

【葉】

- ・節から1対の葉が付く
- ・葉の先がややとがる

【茎】

- ・茎は空洞（ストロー状）
- ・節に短い毛が生える
- ・茎の表面はなめらか

【花】

- ・花柄は葉のわきから伸びる
- ・花柄の長さは約1～4 cm
- ・花は、小さな花が集まった球状

【葉】

節から一対の葉



葉の先はややとがる



長さは 2.5～5 cm
幅は 0.7～2 cm

【茎】

1mm

茎は空洞（ストロー状）



節に短い毛

茎の表面はなめらか



節からよく分枝

【花】

球状花の直径は
約 1～1.5 cm

花柄は約1～4 cm

花柄は葉の脇から伸びる



水田や畦畔などにみられる間違えやすい植物

※ これらの種は**特定外来生物ではありません**。

ツルノゲイトウ（外来種）



- ・球状花は葉の脇にくっつく
- ※ 花のない時期は見分けが困難

アメリカタカサブロウ（外来種）



- ・葉の鋸歯は明瞭
- ・花は球状でなく平たい

タカサブロウ（在来種）



- ・葉の鋸歯は不明瞭
- ・花は球状でなく平たい

スベリヒユ（在来種）



- ・葉の先は丸い
- ・葉は互生（交互につく）
- ・花は黄色

シロツメクサ（外来種）



- ・葉は3小葉
- ・葉に白い紋
- ・球状花の直径は2 cm